E767Z602H53

MITSUBISHI

三菱白熱灯器具

白熱灯M形ダウンライト

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

お客さまへ

■ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくためこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

形名 LD1913（バッフル） LD1913M（バッフル） LD1913MSP（バッフル）
LD1914（コーン） LD1914M（コーン）

取扱説明書

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して、説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの

■お客様自身で分解・改造はしない。火災・感電の原因
■異常時は電源スイッチを切る。
煙がでたり、変な臭いがしたら、すぐスイッチを切る。
感電・火災の原因
■布や紙など燃えやすいもので覆ったりかぶせない。
火災の原因
■器具と被照射面は３０ｃｍ以上離す。
火災の原因

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■高温(40℃以上)な場所で使わない。落下・感電・火災の原因 ■電気工事はしない。有資格者に取付けを依頼 感電の原因
■器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 火災の原因

ランプ交換のしかた　⚠注意　電源を切ってください。　感電の原因になります。

＜ランプの取外しかた＞

(1)下面から手を入れて、ランプを反時計方向へ回してソケットから外す。

＜ランプの取付けかた＞

(1)ランプを本体の下から入れて、ソケットにねじ込む。

⚠注意

■ランプのガラス、口金部分を強くねじらない
ガラスの破損によりけがの原因
■器具表示の指定W(ワット)数を越えるランプは使用しない。
過熱して火災の原因
■ランプに塗料などを塗らない。ランプが過熱、破損してけがの原因
■点灯中及び消灯直後のランプは触らない。高温のためやけどの原因
■使用済みランプは不用意に割らない。ガラスの破片が飛散しけがの原因

お手入れ　⚠注意　電源を切ってください。　感電の原因になります。

器具の汚れは、柔らかい布をぬるま湯か、うすめた中性洗剤につけ、よくしぼってから拭きとってください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しないでください。
安全にご使用いただくために、半年に一回の保守・点検をおこなってください。

使わない!!

⚠警告　器具・ランプを水洗いしない。感電・火災の原因

仕様

定格電圧	消費電力	適合ランプ	口　金
１００Ｖ	５７Ｗ	６０Ｗ形ミニクリプトンランプ×1	Ｅ１７

保証とアフターサービス

○修理・取扱いのご相談はお買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合は、別紙の「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内」で、
・修理やお問合わせは「修理窓口」へ
・その他のお問合わせは「ご相談窓口」へ

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用出来ず、
また アフターサービスも出来ません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎0467-41-2726（営業企画課）

E767Z602H53

施工説明書

■電気工事には電気工事士の資格が必要です。

施工者さまへ

■施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、 ⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して、説明しています。

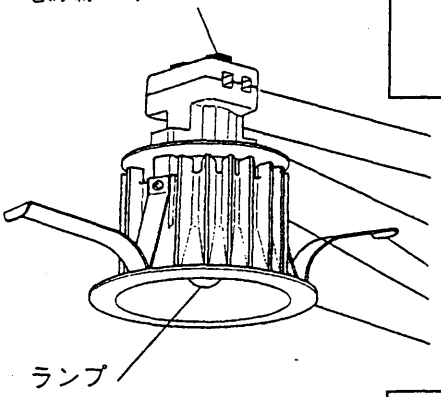
⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの

■施工に関しては内線規程・電気設備の技術基準に従ってください。
■器具と被照射面は３０cm以上離す。 火災の原因
■電源線は器具の外郭に直接触れない。火災の原因
■器具取付けの際は電線を挟まない。感電・火災の原因
■配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。感電・火災の原因

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■次のような場所に取付けない。落下・感電・火災の原因
・高温(40℃以上)の場所
・風呂場など水や湿気の多い場所
・強い振動、衝撃のある場所
■電源は交流100V以外で使わない。 火災の原因
■器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。感電・火災の原因
■器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。火災の原因
■狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 火災の原因

各部のなまえと取り付け方

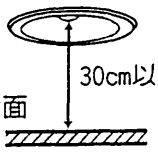


附属品 保護チューブ 4本

1. 取付け前の確認

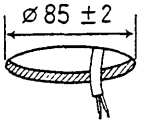
●器具質量（0.35Kg）に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。
●補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定してください。

器具と被照射面は３０cm以上離してください。
火災の原因になります。



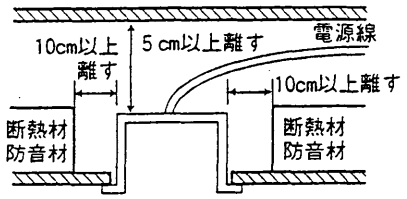
2. 天井に埋込穴をあける

●指定埋込穴径⌀８５にたいして±２であけて下さい。
●取付可能天井厚は5～24ｍｍです。天井の材質により、取付可能天井厚範囲が狭まる場合があります。



取付可能天井厚
5～24mm

断熱材・防音材をご使用の場合



電気配線は、断熱材・防音材の上側にくるようにして下さい。

3. 電源線を端子台に接続する。

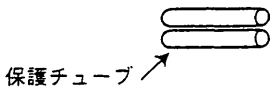
●電源線の線芯ごとに保護チューブを差し込んでください。

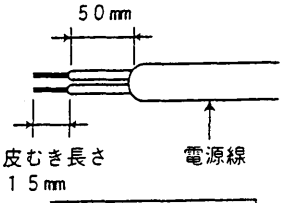
⚠注意 感電・火災の原因になります。

●電源線を端子台の差し込み穴に確実に差し込んでください。

⚠注意 接続が不完全な場合、容量オーバーした場合感電・火災の原因になります。

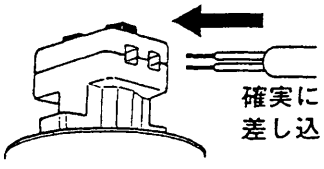
●端子台の送り容量は１５Ａです。
●適合電線：⌀1.6単線
：⌀2.0単線





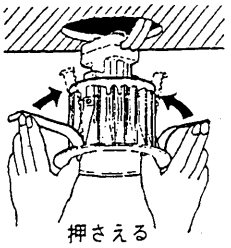
皮むき長さ
１５mm

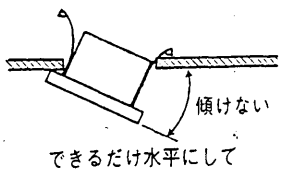
●送り配線の場合、送り配線にも芯線ごとに保護チューブを差し込んでください。



4. 本体を埋込穴に入れる。

●取付バネを押さえ、本体を埋込穴に入れてください。
●本体枠が天井に密着するまで押し上げてください。
●本体を斜めに傾けた状態で、埋込穴に無理に入れないでください。本体及びバネが穴に引掛かかり、入らなくなる場合があります。





⚠注意 不完全取付けは器具落下の原因になります。